

一般社団法人電動車両用電力供給システム協議会(EVPOSSA)

平成 25 年度事業計画書

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1. まえがき

日本経済は政権交代による新政権の緊急経済対策(アベノミクス)効果により、円安、株価高基調にあり、景気の先行きも明るい兆しも見え始めている。しかしながら、平成23年3月11日発生した東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故発生以降、我が国のエネルギー戦略は「原発からグリーンエネルギー」へと大きな転換期にきている。特にエネルギー・環境政策の柱として、「節電・省エネ」「再生可能エネルギー」の導入などの加速化、これに伴い、電力の自由化などの動きも図られようとしている。

また、「都市環境の大気汚染の防止」「CO2の削減」などの環境に配慮した次世代の自動車として期待される電気自動車の導入が積極的に促進され、電気自動車に欠かせない普通充電器のインフラ整備などとして2020年までに200万基の設置を目標として施策がすすめられている。

このような中、当協議会がすすめる電動車両用電力供給システムにかかる普通充電器の普及促進活動への期待は高まっており、関係省庁及び関係団体と連携して、積極的な普及促進の展開をはかるとともに V2H 等新しい技術課題への取り組みを推進する。

2. 協議会の活動

2.1 協議会活動の基本方針

設立2年目にあたり協議会活動の更なる充実に向けて、電動車両用電力供給システムにかかる視点から下記に掲げるテーマを基本方針として具体的成果の得られる活動を行う。

- ①安全・安心・互換性が担保された普通充電器の普及促進
- ②業界標準化に向けたガイドライン作りの推進
- ③充電インフラに関するビジョン策定

《 重点課題 》

- ①安全・安心・互換性が担保された普通充電器の普及促進
 - (1)第三者認証制度の課題解決と会員の認証取得推進
 - (2)普通充電器普及促進に向けて補助金要件等への働きかけ、関連団体との連携活動の推進
 - (3)EVPOSSA認知度向上に向けた広報活動の充実

(4) 会員のための情報発信の充実

② 業界標準化に向けたガイドライン作りの推進

(5) 設置・施工等の新規ガイドラインの作成

(6) V2H ガイドライン規格の発行・改定

(7) 認証課金システムの検討

③ 充電インフラに関するビジョン策定

(8) 普通充電インフラビジョンの策定

2.2 委員会・部会の活動計画

2.2.1 企画運営委員会

≪ 活動内容 ≫

(1) 普通充電インフラの3年、5年先のビジョン策定

(2) V2G等新技術に関する調査、情報収集

2.2.2 技術課題検討部会

≪ 活動内容 ≫

(1) JARI認証取得推進のためJARI認証推進WGを継続し、制度課題改善案の提案継続

(2) コンセントスタンドのガイドライン作成検討

(3) 認証課金システムの調査

(4) V2Hガイドライン規格発行と課題集約の実施

2.2.3 普及促進部会

≪ 活動内容 ≫

(1) EVPOSSAの認知度向上とJARI認証制度取得活動の促進

(2) ホームページの充実(自治体との連携による普通充電器の情報発信)

(3) 補助金情報の収集と行政への働きかけ

(4) CHAdeMO協議会との連携活動

(5) 普通充電器案内サインの制作